

## 全国表彰を受賞!

### 農業農村整備優良地区コンクール

3月26日、平成30年度農業農村整備優良地区コンクール（主催…全国水土里ネット）において、只見町土地改良区（中朝日地区）が農業振興部門の全国水土里ネット会長賞を受賞しました。これは、農業活動などにおいて、優れた成果を上げている地域が選ばれ表彰されるもので、30年度は町土地改良区が県内唯一の受賞となりました。今回は、中朝日地区で効率的な営農を実現して生産コストの削減に成功した点や、南郷トマトの栽培、もち米を使った6次産業化の推進などが高く評価されており、今後の更なる取り組みが期待されています。



▲東京都内で開催された表彰式に出席した皆さん

## 新体制でエコパークを推進

### 新ブナセンター長などに就任

4月、ブナセンター長へ齋藤修一さん（前只見町教育長）、ブナセンター館長へ紙谷智彦さん（新潟大学名誉教授）、只見ユネスコエコパーク推進専門監に中岡茂さん（元林野庁職員）が就任されました。

ブナセンター長はユネスコエコパーク推進の中心的役割を担い、館長はセンターの付属施設である「ただみ・ブナと川のミュージアム」と「ふるさと館田子倉」の管理・運営、推進専門監はエコパーク推進に向けた専門的な助言や提言を行う役割となっており、今年度より新体制で活動していきます。



▲就任した齋藤修一さん(中右)、紙谷智彦さん(左)、中岡茂さん(右)

## 山村教育留学生第18期生

### 新たな仲間との対面

4月8日、只見振興センターで県内外から只見高校へ進学する山村教育留学生第18期生12名の対面式が行われ、留学生や保護者、各関係者が出席しました。各留学生の自己紹介では「只見高校で甲子園出場を目標に野球を頑張りたい」、「地域のイベントに積極的に参加したい」などと学生生活における目標や意気込みが発表されました。式の間緊張した面持ちだった留学生の皆さんは、閉会式後にはすっかり打ち解けた様子で、これからの学校生活を共にする新たな仲間との交流を楽しんでいます。



▲出席した留学生の皆さん

## 滞納ゼロに向けて

### 只見町納税貯蓄組合連合会総会

4月15日、只見振興センターで「平成31年度只見町納税貯蓄組合連合会総会」が開催され、各地区の組合長などが出席しました。

総会の中で行なわれた町納税貯蓄組合連合会長表彰では、上福井第一納税貯蓄組合長の小沼万夫さんが20年間、大倉広田面納税貯蓄組合長の梁取静枝さんが10年間に渡り納税活動に尽力されたことが称えられ、栗木会長から表彰状などが手渡されました。小沼さんは「納税は国民の義務と認識している。これからも地区の納税活動に尽力していきたい。」と謝辞を述べられました。



▲栗木会長から表彰を受ける小沼さん

完成を見据え関係機関が協議  
八十里越道路暫定的活用検討懇談会

4月18日、国道289号八十里越道路の完成を見据え、通り抜け事業などの暫定的な道路活用について協議する「第9回八十里越道路暫定的活用検討懇談会」が三条市の諸橋轍次記念館で開催され、只見町と三条市、国や県の機関などが参加しました。

懇談会では、長岡国道事務所からの道路工事進捗状況における説明（進捗率は約81%）や新潟テレビ21報道制作局による「八十里越、未来へのメッセージ」と題した講演が行われた後、今年度予定されている通り抜け事業についての協議が行われ、事業8案が承認されました。

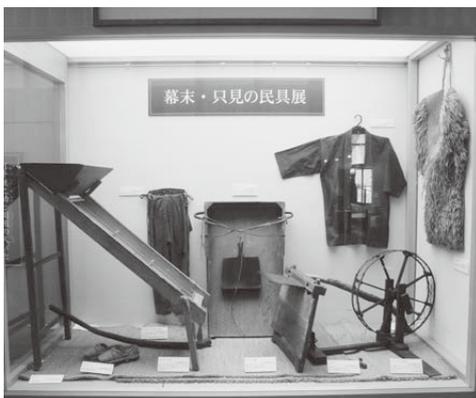


▲只見町と三条市をはじめ、10団体程の関係機関が参加した

戊辰151年目の誘客を図る  
河井継之助記念館が再オープン

4月20日、戊辰戦争を長岡藩家老として戦い、只見の地で没した河井継之助ゆかりの物を中心に展示する同記念館が今年度のオープンを迎えました。戊辰150周年を迎えた昨年は、町内でも多くのイベントや企画が行われ盛り上がりを見せましたが、今年も引き続き、関連する企画展などの開催が予定されています。4月末からは、今年最初の企画展「幕末・只見の民具展」が開催されており、継之助が生きた時代の民具や生活の様子などについて見学することができます。

●開館時間 10時～16時（木曜休館）、入館料 300円（小人150円）  
☎024118212870



▲幕末当時の民具などが展示されている

今年度の重点事業を報告  
町政報告会を開催

4月25日、当年度の重点事業などを中心に、町から区長へと報告が行われる町政報告会が季の郷湯ら里で開催され、町関係者と各区長が出席しました。

報告会では、今年度の重点事業として、町制施行60周年記念事業の内容や町政座談会の開催について、農林建設関係（農業振興、克雪対策、公共事業）の補助制度、道の駅整備に関する基本構想などが町担当課より説明された後、各区長から事業に対する質問が挙げられ、活発な意見交換が行われました。



▲町関係者と各区長の40名程が出席した

大型連休前に再開通  
国道252号線再開通記念式典

4月25日午後1時に国道252号線六十里越雪割り街道が再開通し、4月27日には歳時記念館駐車場で記念式典が行われました。同式典は、例年、再開通に合わせて只見町・魚沼市で交互に開催されており、当日は多くの関係者が出席しました。

式典では、菅家町長が「この路線は周辺市町村の人々の生活に密接に関わるものであり、早期の再開通に意義がある」と挨拶し、来賓として出席された増子輝彦参議院議員が「当地域の雪は貴重な地域資源であり、今後、外国人観光客の増加も期待できる」と祝辞を述べられました。



▲関係者によるテープカットで式典が締めくくられた